（様式１）

|  |
| --- |
| 令和４年度ＮＰＯ基盤強化支援事業助成申請書令和４年７月　　日公益財団法人おおいた共創基金理事長　鶴田　浩一郎　殿　　　　　　　　　　　　〒住　所団体名代表者氏名　　　　　　　　　記 |
| （ふりがな） |  |
| 団体名： |  |
| 代表者役職名： |  |
| 代表者氏名： |  |
| おんぽの★数 | ★（　　）個　（※「おんぽ」http://www.onpo.jp/　登録は必須です。） |
| 主たる事務所の所在地 | 〒　　　　　　　　　　　　　　TEL：　　　　　　　FAX： |
| 担当者（所属部課・氏名） | 連絡先住所：〒氏名：TEL：　　　　　　　　FAX：　　　　　　　E-mail： |
| 確保予定寄付金 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　千円（＊基金からの助成金は除く）　　　　 |
| 〇事業活動が必要な背景や内容※事業活動を行う地域の現状や問題点及び活動の内容やそれにより地域課題の解決がいかに図られるかについて具体的に記入してください。 |
| 〇事業活動が必要な背景や内容○事業活動のスケジュール　※令和５年4月1日～令和６年２月２９日内であれば長短は問いません。◆事業活動実施期間：令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日◆事業活動スケジュール※実施スケジュールをできるだけ詳細に記載し、必要に応じて、フローチャート、日程表を添付してください。 |
| ○寄付金確保の方法※寄附金を具体的にどのようにして集めるかについて記載してください。（募金箱を置く場所の候補や街頭での募金活動、寄付金集めに回る企業の候補など具体的に記述してください）。 |
| ○活動の継続性※本事業終了後も活動を継続するための運営体制（会員や住民団体等との連携を含む）の強化や安定的な収入確保の方策について、具体的に記入してください。 |

〔令和５年度収支予算書〕

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 区　　分 | 予算額　　（円） | 内　　　　　訳 |
| 収　入　の　部 | 基金助成金 |  |  |
| 自己資金 |  |  |
| 寄付金 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 総　　額 |  |  |
| 支　　　　　　出　　　　　　の　　　　　　部 | 　　経　　費　　内　　訳 |  |  |  |
| 1. 旅費交通費
 |  |  |
| 1. 印刷費
 |  |  |
| 1. 通信費
 |  |  |
| 1. 謝金
 |  |  |
| 1. 消耗品費
2. 人件費
 |  |  |
| 1. その他
 |  |  |
| 総　　額 |  |  |

※支出の部の科目は、必要に応じて追加及び削除することができます。-

誓　　約　　書

私は、下記の事項について誓約します。

なお、必要な場合には、大分県警察本部に照会することについて承諾します。

また、照会で確認された情報は、今後、私が、公益財団法人おおいた共創基金と行う他の契約における確認に利用することに同意します。

記

１　自己又は自己の役員等及び連携する団体の構成員は、次の各号のいずれにも該当しません。

（１）暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

（２）暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）

（３）暴力団員が役員となっている事業者

（４）暴力団員であることを知りながら、その者を雇用・使用している者

（５）暴力団員であることを知りながら、その者と下請契約又は資材、原材料の購入契約等を締結している者

（６）暴力団又は暴力団員に経済上の利益又は便宜を供与している者

（７） 暴力団又は暴力団員と社会通念上ふさわしくない交際を有するなど社会的に非難される関係を有している者

（８）暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者

２　１の（１）から（８）までに掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和４年７月　　日

公益財団法人　おおいた共創基金　　　殿

 〔団体にあっては代表者所在地〕

　　　　　　　　　　　　　　　　　 住　　 所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　団　体　名

　　　　　　　　　　　　　 （ふりがな）

 　　　　　　 代表者氏名

※公益財団法人おおいた共創基金では、大分県暴力団排除条例に基づき、申請者に暴力団等でない旨の誓約をお願いしています。